

I-1 教師の表情、話し方

先生、いつも明るく楽しそう！

☆ 教師の表情は指導力の一部です。

授業が始まれば、まず、子どもは教師の表情に注目します。



教師の表情は、子どもの学習意欲に影響を与えます。

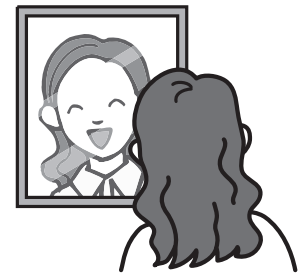
授業中の教師の豊かな表情は学習意欲を引き出します。

無表情であったり、いつも気難しく不機嫌な表情では、子どもの学習意欲を引き出すことはできません。教師の表情は指導力の一部です。

自分がどんな表情で授業をしているか知っていますか？

自分のことを一番知らないのは、自分かもしれません。

- ◆ 授業中の表情を録画してみましょう。
- ◆ 授業に行く前に、鏡をのぞいてみましょう。



☆ 自分の話し方をチェックしてみませんか。

- 声の大きさや話すスピードは適当か。(1分間に300字程度)
- 内容や場面に応じて、抑揚、強弱、高さ、「間」のとり方に配慮しているか。
- 子どもの表情を見て、反応を確かめながら話しているか。
- 繰り返しや念押しをしたり、子どもに考える時間を与えたりしながら話しているか。
- 身振りや手振りを交えて話しているか。
- 肯定的な温かい言葉、共感的で親しみの湧く言葉を使うよう心がけているか。
- 子どもの発達段階に合わない抽象的な難しい語を使っていないか。
- 一つの文をだらだら長くしないで、短い文で簡潔に話しているか。
- 「あの一」「えー」などの不要な言葉を多く使っていないか。

- ◆ 大切なのは、「間」を取ってから、ゆっくりと低い声で話しましょう。
- ◆ 授業を録音してみましょう。自分の話し方の長所と短所がよく分かります。

鏡に映る自分！

「人は鏡の前が一番よい表情をする。」という言葉があります。一般企業に勤める人に比べて、教師は鏡を見る回数が少ないと言われています。

授業に行く前に、鏡をのぞいて笑顔をつくってみませんか。子どもたちの「やる気」を引き出すだけでなく、教師の心のリセットにもなります。

わん！ポイント！

